

総務文教常任委員会(9/20・10/1)、産業厚生常任委員会(9/21・10/2)、公共施設に

台風21号、北海道胆振東部地震の対応は

産業
厚生

農業被害の調査は万全か

9月18日現在のビニールハウスやハウス内の花き・野菜への農業被害やその被害額(1億6,188万円)の説明がありました。また、納屋など農業用施設の被害報告もあり、それらの調査方法や今後の町の対応などについて質疑が行われました。

問

説明では、農協で調査したデータを基にした被害報告とのことでしたが、農業関係の被害について、町独自で調査しているのか。

答

北海道の災害情報等取扱要領等に基づき、農協、土地改良区、農業改良普及センター、共済と連携し調査体制をとっているが、まだ全ての被害は把握できていない。



台風21号により倒壊したビニールハウス

問

農業被害は漏れることなく拾えているのか。それとも、漏れないかなども含めて、今後、町として独自に動く予定はあるのか。

答

農協に属さない方や単独で出荷している方で、今後の共済からの報告でもカバーできない方については、町で情報を収集し、声掛けや聞き取りをしたいと思う。

総務
文教

あずまや 白樺公園の四阿倒壊



台風21号により倒壊した四阿

問

四阿は、必ず復旧するというよりは、どのように復旧するのがいいか、やはり議論していかねばならないと考えるが、いかがか。

答

復旧費関係の追加補正予算には計上していないが、国の災害復旧事業の補助を申請している。国の方向性を含め、今後内部で協議したい。

産業
厚生

倒木 早急な対応を

伊達山林道付近の森林整備センターが管理する分収林に3haほどの風倒木がありました。今後の町としての対応について質疑が行われました。

問

風倒木の対応はどのようにするのか。また、全道的に同じような状況だと考えると、後回しにされないような姿勢を早急に示す必要があるのではないか。

答

風倒木は売払いを行い、そのエリアには植栽を行うなど、早期に回復するよう森林整備センターに強く要望していきたいと思う。

総務
文教

道の駅のトイレ使えなくなる

問

地震による停電で道の駅のトイレが使用できなかったと報告があった。今後の停電時の対応は。

答

停電で浄化槽が使用できなくなった。停電が長時間となると浄化槽の維持管理機能が失われる。今後、蓄電池などで対応できるのか考えていきたい。



伊達山林道付近の倒木(ドローンにより撮影)

常任委員会の動画配信開始

9月議会より、常任委員会での町の提案説明やそれに対する質疑をインターネットで動画配信しています。ぜひ、ご覧ください。



関するあり方検討特別委員会(10/2)を開催し、町からの提案に対する質疑が行われました。

ふとみ保育所 公私連携型認定こども園化

総務
文教

地域と連携した幼児教育を

現在のふとみ保育所は、当別町が設置し運営を民間へ委託していますが、平成31年度からの公私連携型認定こども園^{※1}化に向け、引き継ぐ法人を選定するためのプロポーザル^{※2}が行われ、運営法人が社会福祉法人高陽福祉会に決まりました。



来年度より公私連携型認定こども園化されるふとみ保育所

問

地域との連携については、どのような評価であったのか。また、今後連携協定を結ぶとのことだが、できれば早めに内容を提示してもらいたい。

答

地域との連携については、地域の小学校や老人施設、高校などと連携した取組みを積極的に行いたいと提案があった。協定は早めに内容を提示していきたい。

問

より高い教育効果を求めて、公私連携型認定こども園に移行すると思うが、教育委員会と運営法人の考えに違いが出てきた場合、教育委員会としてどうしていくのか。

答

今後、教育委員会と運営法人とが公私連携協定を結ぶ中で、教育委員会が進める幼児教育の方針についても、運営法人と一緒に進めていきたいと考えている。

一体型義務教育学校 基本設計へ

総務
文教

基本設計には十分な期間を



当別小学校・中学校を一体型校舎に建替えるための基本構想が8月に策定され、今定例会の補正予算には、基本設計業務委託3,800万円が計上されました。その業務委託に対する質疑がありました。

問

基本設計は、当初示されたスケジュールどおりか。また、色々な方の意見を聞きながら、時間をかけてじっくりとやるべきとの意見があるが教育委員会の考えは。

答

基本設計は繰越明許費という形で翌年度に持ち越し、遅くとも5月までには完了したい。以降の実設計等についてはスケジュールどおり進めていきたいと考えている。

本会議

積算根拠と委託方法

問

基本設計業務委託3,800万円の積算根拠は。また、委託方法としては、公募型プロポーザルを考えているのか。

答

官庁施設の設計業務委託等積算基準の業務料算定基準を基に、延べ床面積等により算出した。また、委託方法としては、公募型プロポーザルで現在作業を進めている。

問

基本設計は、地域住民や議会の意見、パブリックコメントでの意見が反映されるよう、予算執行に十分に配慮してもらいたいと思うが、どのような考えか。

答

基本構想を作る際に様々なご意見をいただいた。その意見を基本設計の中に具現化するため、落とし込むために期間が足りないと考え、5月までとした。

※1 公私連携型認定こども園…民設民営でありつつも、町が関与し、運営法人と町とが連携して教育・保育活動を実施する認定こども園。

※2 プロポーザル…複数の事業者に対して目的に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

地域医療のあり方検討会議 報告書

産業
厚生

具体的な政策立案を

町内の医療・福祉・介護などの専門家で組織する当別町の地域医療のあり方検討会議が3回開催され、その会議の報告書が町に提出されました。その説明を受け、今後の具体的な政策立案について質疑がありました。



検討会議報告書
(町ホームページ)

在宅医療の具体的な政策は？

問

具体的な措置が一番大事であるが、専門家の会議が入り口論的な報告で終わっている。この先具体的な政策を立案できるのか。今後の政策立案は福祉部が行うのか。

答

検討会議は3回をもって解散した。委員会や協議会にするなどの形は決まっていないが、専門家の方の意見も聞きながら具体的な政策の立案を行っていきたいと考えている。

問

この会議で具体的な政策立案をするものと思っていた。いつになったら具体的な議論ができるのか。具体的な政策に落とし込んで引き続き専門家の協力を得て進めていきたい。

答

この検討会議は、医療・福祉・介護の専門家から生の声が聞けたことについては非常に成果があったと思っている。町は早い時期に新たな方向性を決め、専門家の方々と一緒に考えていきたい。

その他の質問

総務
文教

150年の町史編さん

再来年に当別町は150年を迎えます。9月議会では、町史編さん委員会を設置する条例が提案され、町史編さんについて質疑が行われました。



当別町開基100年のパレードの様子(昭和45年)

問

100年史で疑問に思う点は何点もあり、改めていく姿勢が大事である。また、委員になる方には方針をしっかりと伝えることも大事である。どのような町史を編さんしようと考えているのか。

答

100年からの50年間のあり方と、100年史の記述で誤解を与えるものや古文書発掘により事実と異なる点があれば委員会の中で方向付けをして、町民に恥ずかしくない編さんをしていきたい。

【その他の質問項目】

被災自治体への職員の派遣(総務)、地震による町道の陥没(産業)、一体型校舎建設と財政状況(公共) など

総務
文教

道の駅 町の今後の関わりは

問

今後、町は(株)tobeをどのように成長させ、連携していくのか。また、どのように手を引いていくのか。

答

最終的な決定ではないが担当として、(株)tobeは民間の力を発揮し売上を伸ばし、町は交流人口の増加や経済の活性化を図る。連携しながらどこまで町がやるべきかは、今後議論が必要と考える。

総務
文教

JR 札沼線 地元説明会は

問

資料に医療大駅のバスターミナル化とあるが、説明会ではその話はなかった。また、月形町、浦臼町、新十津川町は廃線やむなしとなった。地元への説明会が必要と思うが、どう考えているか。

答

現況の医療大学駅はバスの乗降ができない。バスの路線は、当別駅から医療大駅を経由し月形へ向かうのが月形町の要望でもあるので、その話が進む前に地元の意見を伺いたいと思っている。